

令和7年度 第4回 南の星小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2025年2月9日（月） 14時35分～16時10分
- 2 開催場所 南の星小学校 1階会議室
- 3 出席委員 小林睦夫、大石享志、佐藤政美、大石修代、HASHIMOTO IZABELA
- 4 欠席委員 原川 翼、稻鶴久美子、古山真季、BAMBANG HARIANTO
- 5 オブザーバー 中村優作（五島協働センター所長）
- 6 学校 竹村元清（校長）、古橋水無（教頭）、進士義光（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 進士義光
- 9 議長選出
司会の教頭から議長の選出について委員に意見を求めたところ、小林会長が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。
- 10 協議事項
 - （1）学校関係者評価について（教頭）
 - （2）来年度の学校運営の基本方針の説明（校長）
 - （3）学校運営協議会の自己評価について（会長）
 - （4）その他 夢育やらまいかCS加算分の報告（教頭）
- 11 会議記録
司会から、委員総数9人のうち5人の出席があり過半数に達している為、会議が成立している旨の報告があった。

熟議

（1）学校関係者評価

- ・「助け合う子」について：上級生が下級生を引っ張っていくことも大事ではないか。下級生の児童は上級生を見て育つため、今度は自分が上級生になったら見本になる。その繰り返しがいいと感じている。計画に対する取り組み（実施）が多すぎて、もう少し整理したらどうか。（大石享志）
 - ・「学校が好きだ、楽しいと思う」が82%あり、非常にいいことだと思う。（大石修代）
 - ・中学の勉強に苦労している。子供の成功体験を増やし自信がつくよう試みを今後してほしい。挨拶は南の星小でできていたため、中学校になっても継続されている。（佐藤政美）
 - ・「学び合う子」の評価で児童と職員の乖離がみられた点を考察してほしい。（会長）
- 児童はよくできたと言っているが、職員はもう少し頑張れたのではと思っていることが要因ではないか。
- ・安全な運動の指導について：安全を優先するがために突き抜けた子が生まれないのではと懸念している。怪我を恐れずやったことで伸びる子はいはずと歯がゆさを感じている。危険性は教えつつ、突き抜けた子を育てることで学校全体のレベルアップに繋がるのではないかと。（会長）
- 事故が起こるとその詳細について教育委員会に報告しないといけない。（教頭）
- 事故が起きた過程を子供たち同士が学ぶことが必要ではないか。また外で遊ぶことが怪我の防止に繋がると思う。（会長）
- 学校の怪我は医療機関に掛かった件数で報告している。昔と異なり軽い怪我でもすぐ掛かってしまう傾向にある。その報告も昨年度と比べ今年度は少なくなっている。浜松リハビリテーション病院からスクールトレーナーを呼んで希望児童に対し、怪我防止の準備運動（ストレッチ）を紹介する取り組み

を今年度は10回行っている。(校長)

→ 怪我防止対策になって非常に良い取り組みなので継続して欲しい。(会長)

・朝の事業開始前にストレッチなど準備時間を設けてみたらどうでしょうか。(大石享志)

→ 1限目は即開始のため設け難い。体育の授業前に怪我防止のため準備運動はやっている。(校長)

＊いじめ防止基本方針に基づく取り組み状況や目標達成状況について

年3回、いじめに特化したアンケートを実施している。いじめの事案が発生した場合は丁寧な対応をしている。今年度はいじめ事案が6件発生し4件解決している。(教頭)

・アンケートは児童の本当の気持ちを書けているのか。(書くことで自分へのいじめが発生してしまうと心配) そうした場合、学校はどのような対応をしてくれるのか。(佐藤政美)

→ 担任がその児童に声掛けをしている。またカウンセラーと相談し対応している。(教頭)

・いじめ対策として学校は道徳的な時間を設け、何がだめなのか事例を示し理解させることが必要。また、親も子供に対し、いじめの事例を示すなどして軌道修正していくことも必要。(大石享志)

・家で子供といじめの話をしていますか? 学校での出来事を話していますか? こうした話の中からいじめ防止のきっかけになった。(ハシモト)

・子供は親の顔色をうかがい、空気を読み会話する傾向にあり、実態が分からないことがある。日頃話しやすい雰囲気や相談しやすい関係にしていく。いじめに繋がる会話があればすぐその場で正すことができる。(会長)

・懇談会など、いじめ対策を話題にして活用したらどうか。(会長)

(2) 来年度の学校運営の基本方針について

・来年度も、学校教育目標は「夢をもって とともにかがやく 星の子」。『「豊かなかわり合い」と「質の高い学び」を通じて、児童が将来輝くための自分を創る「未来につながる学びの場」』を、目指す学校像として進めていく。

他、グランドデザインの重点目標等を説明され、その方針について全員異議なく承認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価について委員の皆様から提出して頂いた自己評価について、まとめたものを確認した。

・夏休み、畑の水まきの手伝いを保護者や子供たちでできないか?(教頭)

・小学校で細かくいろいろな活動をやっていることが分かり、親としてありがたい。(中村)

(4) その他

教頭より夢育やらまいか事業のCS加算分の用途等について報告があった。また、前回協議したライフジャケット導入について明日の参観会で説明すると報告があった。

連絡事項

・令和8年度 第1回学校運営協議会予告

司会の教頭より、令和8年5月11日(月)10:00~11:30、南の星小学校会議室で開催する旨の報告があった。尚、協議会前に授業を自由見学する場を設ける説明もあった。